

旅行取扱状況の概観（平成28年6月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比91.3%、学生団体は同64.5%と前年を下回り、団体旅行合計で同87.7%と前年を下回った。企画旅行については前年比93.6%と前年を下回り、個人旅行については同85.7%と前年を下回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比90.2%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比92.2%、学生団体は同98.4%と前年を下回った。その結果、団体旅行合計で同95.9%と前年下回った。企画旅行については前年比87.5%、個人旅行については同96.2%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、92.1%と前年を下回った。

外国人旅行の扱いは、前年比154.8%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の6月の総取扱額は前年比93.4%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体は、一般団体は前年実施の大型の大会などの影響で、前年比92.9%と前年を下回った。学生団体は前年実施の大型の修学旅行や語学研修および留学などの取扱い人数が減少したことにより、同64.5%と前年を下回り、海外団体旅行合計で同89.0%と前年を下回った。

国内団体は、一般団体は受託事業の減少や団体参拝の取扱い人数の減少などの影響で、前年比91.5%と下回った。学生団体は遠足や校外学習などの取扱い人数の減少により前年比98.3%と前年から微減となった。この結果、国内団体旅行合計で前年比95.6%と前年を下回った。

外国人旅行は、需要の拡大に加え伊勢志摩サミット関連受託事業により、前年比156.4%と大きく前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、方面別取扱人数の状況では、東北方面は前年を上回った。九州地区は熊本地震の影響が続いており、また、先月まで好調であった北海道方面も前年を上回ることができず、前年を下回った。この結果、取扱額で前年比86.1%と前年を下回った。

ホリデイは、テロ等の影響が続いており、ヨーロッパ方面は引き続き不調、オセアニアおよびアジア方面が前年を上回ったが、その他の方面は前年を下回り取扱額で前年比84.2%と前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、SIT商品が好調に推移したが、テロの影響によるヨーロッパ方面の不調が続き、前年比96.8%と前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道新幹線の開通効果が続いている北海道方面および東北六魂祭、山形さくらんぼ商品などが好調であったが、熊本地震の影響が続いている九州方面を中心に前年を上回ることができず、前年比83.6%と前年を下回った。

バス旅行部門は、迎賓館赤坂離宮のツアーが好調であったが、スキーバスの転落事故および熊本地震の影響から回復できず、前年比89.7%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、熊本地震の影響により、前年に好評を博した大分のジャカラダの花ツアーや九州名城めぐり、阿蘇を中心としたハイキング、登山などの販売の低迷が要因となり、前年比98.6%と前年から微減となった。以上